

社会資本総合整備計画
都市再生整備計画事業
フォローアップ報告書

天辰第一地区

平成27年3月

鹿児島県薩摩川内市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4ー① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標			従前値	目標値	事後評価					フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み					理由	改善策の方向性	
指標1	居住者数	人	680	750	1,183	確定 見込み	○	あり なし		1,177	H26年6月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	公園、道路整備等の面的整備が進み、安心安全なまちづくりが図られ、居住者数の増加につながっている。
指標2	浸水被害対象家屋数	戸	5	0	0	確定 見込み		あり なし			H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
指標3	公園の維持管理参加団体数	団体	0	3	1	確定 見込み	△	あり なし	○	3	H27年2月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	公園の共用開始に伴い、公園の維持管理の周知を行い地元自治会のボランティア活動の意識も高揚している。
指標4						確定 見込み		あり なし			H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み		あり なし			H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4ー② その他の数値指標の確定

指 標			従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	公園の満足度	%			94	確定 見込み				H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2						確定 見込み				H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3						確定 見込み				H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4ー③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5ー③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	狭隘な道路解消・浸水被害対象家屋解消	・対象となる箇所の早期造成を図り、住民不安を解消、交通利便性の向上を図っている。	現在整備中である。	国・県による治水関連事業の推進と、更なる土地区画整理事業の推進を進める必要がある。
	安全で良好な住環境の創出	・幹線道路の歩道整備、公園整備等、魅力あるまちづくりを進めている。	道路、公園等順調に供用開始をしており、安全で良好な住環境の創出が出来ている。	今後も継続的な取り組みが必要である。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	道路・河川・公園の整備及び維持管理において住民参加体制の構築	地元説明会や、お知らせ等を活用し、公共施設の維持管理等について意識の高揚を図った。	地元の道路や、公園の維持管理への意識が高揚し、公園のごみもへり、草刈等も定期的にするようになった。	今後も継続的な取り組みが必要である。地元自治会と協力体制を構築し、道路・河川・公園等の維持管理に対する意識の高揚を図る。
	安全で良好な居住環境の早期創出	憩いの場となる公園の共用開始、防犯灯の設置を行い、安全で良好な居住環境の創出を図っている。	現在整備中である。	今後も継続的な取り組みが必要である。
	魅力的なまちづくりのためのソフト事業導入	企業誘致等行っているところである。	現在誘致中である。	今後も継続的な取り組みが必要である。

事後評価シート 添付様式5ー③から転記

様式4ー④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画(精算報告)

あまだっだいいち
天辰第一地区

かごしま さつませんだいし
鹿児島県 薩摩川内市

- ・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。
- ・精算報告として、各交付対象事業の確定額等を入力すること。(最終変更版ではない。)

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	鹿児島	市町村名	さつま せんがわし 薩摩川内市	地区名	あまだつだいいち 天辰第一地区	面積	75.4 ha
計画期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度	交付期間	平成 21 年度 ~ 平成 25 年度				

目標

天辰第一地区は、地区内の道路や水路等公共施設が未整備であり、浸水被害の危険性も高い地区である。そのため、浸水被害の解消を図り、災害に強い安全安心かつ居住環境良好な新しい市街地の創出を目標とする。併せて周辺住民の憩いの場となる空間創出を目標とする。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

天辰第一地区は、薩摩川内市の中心市街地から約2km北東に位置し、JR川内駅から約1.7km余りの地点にある。地区の西側は一級河川川内川が流れ、中央部を東西に一級河川三堂川が貫流し、東側には鹿児島純心女子大学、南側は中心市街地に隣接した面積約75.4haの地区である。地区内は、県道山崎川内線及び市道平佐山線沿いの住宅地域、一級河川三堂川下流域側の住宅地と農地の混在地域、地区東側及び三堂川下流域南側の農業地域の3種類に分割される。宅地については、既存集落と水田の埋立によるミニ開発団地が点在している。地区内の道路は幅員が約5～5mと狭路で交通、防犯上も危険な下流側である。

この立地条件から、平成5年度に地方拠点都市の指定を受けた本市の核となるべき地区として、地区の骨格を形成する都市計画道路新設、一級河川川内川の拡幅整備とともに、区画道路、公園等公共施設の整備改善を行うため、土地区画整理事業を導入し都市基盤の整備を行い機能的でしかも居住環境良好な新市街地の形成を図るため、平成12年度から工事に着手している。

また、平成16年度からはまちづくり交付金を導入し、良好な居住環境創出を進めてきたものの、未だ狹隘な道路と浸水被害を受ける家屋が残されており、新市街地としての一体的な機能を発揮できていない状態である。さらに、地区内には周辺住民の憩いの場となる公園が不足しており、更なる憩いの場の創出が必要であるとともに、住民と一体となった維持管理体制の構築が必要である。

さらに、本地区内を貫流する一級河川三堂川流域は、過去に浸水被害等が発生し、平成15年度からには土地区画整理事業と一体となった総合流域防災事業を事業中であるが、上流部の準用河川区間においても一体的な河川改修が必要である。

課題

天辰第一地区においては、現時点で施行区域内の面整備は約65%程度進んでいるものの、区画道路が部分的にしか開通しておらず、全体的な機能を発揮できていない状況である。さらに、土地区画整理事業により宅地造成は進んでいるものの、少子高齢化等の影響を受け、地区内居住者数は年々減少している。また、地区内には未着手の狭隘な道路と、浸水被害を受ける低地帯も一部ではあるが残されており、防災面においても問題が多い。

よって、安全で良好な居住環境を早急に創出するために、区画道路、河川及び公園等の整備を行い定住化促進を図るとともに、住民と一体となった公共施設の維持管理体制の構築が急務である。

将来ビジョン(中長期)

本地区は本市が作成した総合計画の大型プロジェクトのうち「川内川内川内市街部改修」に関連する地区で、都市力を創出するまちづくりを基本方針として、機能的で居住環境良好な新しい市街地の創出を目指している。地区内の都市計画道路には本市でその整備を位置付けている2環状8放射道路網のうち「永利天辰線」と「向田天辰線」が含まれている。

また、九州新幹線的全線開業に伴い高速交通網が整備され、鹿児島市等への通勤の利便性が向上したことから住宅需要の増加が見込まれる。そのため、効率的で秩序ある都市基盤づくりを目指すものである。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目 標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目 標 値	目 標 年 度
居住者数	人	天辰第一地区内の居住者数	区画道路の整備等による良好な居住環境の創出を図り、定住人口の1割程度の増加を見込む。	680	平成20年度	750	平成25年度
浸水被害対象家屋数	戸	同地区内の概ね過去20年間の実績における床上床下浸水対象家屋数	造成及び道路・排水路の整備により、被害対象家屋の解消を目指すもの。	5	平成20年度	0	平成25年度
公園の維持管理参加団体数	団体	整備予定公園の草刈、ゴミ拾い等の維持管理に参加する団体数	地域コミュニティの場、憩いの空間として住民が身近に利用できる公園を整備し、草刈、ゴミ拾い等の維持管理に参加する団体を育成する。	0	平成20年度	3	平成25年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
・土地区画整理事業の実施 河川改修事業の整備と併せ地区内の道路網及び排水系統の整備を図るため、土地区画整理事業を実施し、宅地の造成と、地区内の幹線道路である都市計画道路にアクセスする区画道路を整備し、狭隘道路を解消し災害に強く居住環境良好な宅地の創出を行う。		基幹事業 土地区画整理事業、高質空間形成施設 関連事業 一級河川川内川河川改修工事、一級河川三堂川総合流域防災事業
・公園の整備 宅地に隣接する街区公園においては、トイレ、植栽、照明施設等の整備により、潤いのある空間整備を行い、周辺住民の憩いの場としての整備を図る。		基幹事業 公園
・準用河川改修事業の実施 土地区画整理事業と一体となった河川改修を実施し、浸水被害を受けない安全安心な居住環境の創出を図る。		提案事業 地域創造支援事業（準用河川改修事業）
その他 ○事業実施中における地区民代表を介した協議会 土地区画整理事業においては、土地区画整理法に基づき土地区画整理審議会を設置し、法に基づく行為の同意を得たり、または、意見を聴かなければならない。しかしながら、本地区においては、法的要件以外にも年3回ほど審議会を開催し、事業内容や地域住民の意見・要望等の協議を実施しており、地元住民一丸となって事業を進めている。 ○公園整備及び維持管理について 公園整備を進めるにあたり、整備計画等への住民参画を図り、維持管理を含めたワークショップを実施し、住民一体となった維持管理体制の構築を図る。 ○事業中の計画の管理について 事業を円滑に進め、目標に向けて効果をあげるため、前述の「土地区画整理審議会」及び住民と協働し、事業に係るワークショップを実施していく予定である。		

<都市再生整備計画の整備方針等>
【記入要領】

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- ・「計画区域の整備方針」欄は、目標を達成するために具体的に何をするのかを簡潔に箇条書きするとともに、欄の右にある「方針に合致する主要な事業」欄に、本計画に位置付けられている事業のうち当該整備方針に合致する主要な事業の事業名を記入すること(1つの事業が複数の方針に合致することもあり得る)。
- ・「その他」欄は、都市再生整備計画に関する事項として、特筆すべき内容があれば記載してください。
- ・その他記載にあたっての留意事項は、「都市再生整備計画策定の手引き」を参照すること。

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費		905	交付限度額		362	国費率		0.4		(金額の単位は百万円)				
基幹事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路														
公園		古原公園	薩摩川内市	直	1,800㎡	H16	H25	H25	H25	107	32	32		32
		笹脇公園	薩摩川内市	直	2,233㎡	H16	H25	H23	H24		47	47		47
		田麦公園	薩摩川内市	直	1,600㎡	H16	H25				0	0		0
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道		—			—									
駐車場有効利用システム		—			—									
地域生活基盤施設		—			—									
高質空間形成施設		—	薩摩川内市	直		H16	H25	H24	H24	23	3	3		3
高次都市施設		—			—									
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業		—	薩摩川内市	直	75.4ha	H9	H25	H21	H25	1,490	631	631		631
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業														
	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										1,620	713	713	0	713
提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業	準用河川改修事業	三堂川・立山川	薩摩川内市	直	約700m	H22	H25	H22	H25	189	189	189		189
事業活用調査		—			—									
		—			—									
まちづくり活動推進事業	ワークショップ開催	天辰第一	薩摩川内市	直	75.4ha	H22	H22	H22	H22	3	3	3		3
		—			—									
合計										192	192	192	0	192
													合計(A+B)	905
(参考)関連事業														
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費			
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度				
一級河川川内川内川改修工事	天辰地区	国土交通省	国土交通省	—	○				H5	未定	未定			
一級河川三堂川総合流域防災事業		鹿児島県	国土交通省	約850m		○			H15	未定	1,114			
土地区画整理事業(特会)	天辰第一	薩摩川内市	国土交通省	75.4ha		○			H9	H28	16,316			
合計											17,430			